

令和6年度 自主防災御成小学校ブロック 第1回全体会議 議事次第

開催日 : 令和6年6月20日(木) 14:00~16:00 於 佐助自治会館  
出席者 : 河内(泉ガ谷)、河内(扇ガ谷上町)、平井(扇ガ谷下町)、伊藤(御成町末広)、  
荒井、小田切(表参道商)、石川(蔵屋敷)、高橋、亀崎(小町二丁目)、片瀬(小町二丁目  
東)、高橋、中尾(小町元町)、今、小宮(小町商)、村越、宮脇(巨福呂坂)、岩田(山王  
台)、八星(佐助)、助川(塔ノ辻)、元松、鬼頭(八幡宮前)、廣瀬、小島(八幡宮前商)、  
林(マスターズハウス) 白井(雪ノ下鶯)、宮田(岩谷堂) 以上19組織26名  
鎌倉市役所総合防災課

配布資料 : ① 第1回全体会議 議事次第  
② 役員名簿  
③ 連絡網  
④ 第1回ブロック会議議事録(4月18日開催)  
⑤ 5月10日付鎌倉市役所総合防災課宛レター

本日の議事

1. 出席者自己紹介、名簿・連絡網の確認
2. 鎌倉市自主防災組織連合会の本年度事業計画  
8月29日(木) 総合防災訓練  
11月16日(土) 沿岸部一斉津波避難訓練
3. 第1回ブロック幹事会報告
4. 当ブロックの本年度防災訓練について
  - (1) 訓練の目的  
緊急避難・誘導  
安否確認・救助・救護  
避難所運営
  - (2) 総合防災課より  
被害想定の確認、想定外の可能性  
避難の要否の判断・誘導について  
防災拠点・支援受入れ態勢
  - (3) 地域ごとの事情、自治会と商店会の事情  
各組織での訓練の結果を持ち寄って評価、反省を共有することでよいか
  - (4) 要支援者について  
支援者の責任を問わないことの確認  
要支援者リストの活用について  
民生委員との連携
  - (5) 訓練の実施時期・内容  
湘南鎌倉病院救急科による救急救命指導、能登地震に現地で活動した方の経験談

以上

令和6年度 鎌倉市自主防災組織御成小学校区（ブロック）役員名簿

19組織

令和6年4月18日現在

No	自治会・町内会名	役職	氏名		FAX ◎は幹事
1	扇力谷泉力谷町内会	会長	河内 正治	24-8987	
2	扇力谷泉力谷町内会	副会長	松岡多恵子	22-6350	
3	扇力谷泉力谷町内会	防災部長	山田 敦	22-5562	
4	扇力谷泉力谷町内会	副部長	村田 明	23-2135	
5	扇力谷上町自治会	会長防災部長	河内 隆一	25-3965	◎
6	扇力谷上町自治会	副会長	鈴木 和彦	22-4313	
7	扇力谷下町自治会	会長防災部長	平井 修	22-9323	◎
8	扇力谷下町自治会	防災部顧問	竹内 重利	25-5546	
9	御成町末広自治会	会長	米里 文明	23-5969	
10	御成町末広自治会	防災部長	伊藤 英二	23-2133	
11	御成町末広自治会	総務部長	岩沢 晃	22-8386	◎
12	蔵屋敷自治会	会長	石川 隆	22-3127	◎ 25-4498
13	蔵屋敷自治会	防災部長	田中 祐司	22-3072	
14	蔵屋敷自治会	防災役員	宮崎 芳子	22-3969	
15	巨福呂坂町内会	会長	村越 俊一	22-4173	◎
16	巨福呂坂町内会	副会長防災委員	宮脇 恒彦	090-1030-4814	
17	小町二丁目自治会	会長	高橋 令和	22-3739	
18	小町二丁目自治会	防災部長	亀崎 晋紀	080-5079-0588	
19	小町二丁目東自治会	会長	片瀬 裕文	22-4065	
20	小町元町町内会	会長防災部長	高橋 和男	22-2291	
21	佐助自治会	会長防災部長	八星 暁	22-0147	◎
22	佐助自治会	防災役員	森永 正彬	23-5771	
23	山王台自治会	会長	岩田 薫	24-4414	◎ 24-4454
24	山王台自治会	防災部長	森田 英夫	24-1092	
25	塔ノ辻自治会	会長防災部長	加藤 孝彦	23-0899	◎
26	塔ノ辻自治会	防災部副部長	助川 節子	22-4493	
27	八幡宮前自治会	会長	元松 経男	22-2968	◎
28	八幡宮前自治会	防災部長	鬼頭 弘	24-6661	◎
29	八幡宮前商店会	会長	広瀬 真	22-2034	22-8800
30	八幡宮前商店会	参与	小島 皓士	22-2807	◎
31	鎌倉小町商店会	会長	今 雅史	22-3098	
32	鎌倉表参道商店会	会長	荒井 國明	25-4551	25-4552
33	雪ノ下岩谷堂町内会	会長	宮田 廣	22-1850	◎
34	雪ノ下岩谷堂町内会	副会長防災部長	児玉 康子	22-7704	◎
35	雪ノ下二丁目篤会	会長	白井 達雄	25-3629	
36	雪ノ下二丁目篤会	副会長	平木 伸明	24-3695	
37	雪ノ下二丁目篤会	防災部長	平木 裕子	24-3695	
38	鎌倉御成町マスターズハウス自治会	会長	林 さち子	67-8085	
	自主防災組織指揮関連先		代表責任者	電話連絡先	
	自主防災組織連合会会長		渡辺 英明	(芝原自治会)	
	鎌倉市総合防災課		高橋係長	昼間 23-3000	
	鎌倉市立御成小学校校長		関根木綿子	昼間 25-1204	
	鎌倉市立御成小学校教頭		澁谷亮太	昼間 25-1204	

ブロック名	ブロック長	自主防災組織	電話FAX
御成小学校区	宮田 廣	雷ノ下岩谷堂町内会会長	22-1850
第一代理者	元松 経男	八幡宮前自治会会長	22-2968

渡辺連合会会長(芝原自治会)
----------------

鎌倉市総合防災課
高橋係長(23-3000)

佐助自治会会長	八星 暁22-0147
佐助自治会防災役員	森永正彬23-5771
610 世帯	19%

塔ノ辻自治会会長 部長	加藤孝彦23-0899
塔ノ辻自治会副会長	平本恭子25-0824
塔ノ辻自治会防災副部長	助川節子22-4493
337 世帯	11%

扇ガ谷上町自治会会長	河内隆一25-3965
扇ガ谷上町自治会副会長	横 卓22-7915
365 世帯	12%

雷ノ下岩谷堂町内会防災部長	児玉康子22-7704
210 世帯	7%

八幡宮前自治会防災部長	鬼頭 弘24-6661
156 世帯	5%

八幡宮前商店会会長	広瀬 真22-2034
八幡宮前商店会副会長	秋元秀夫25-5812
140 世帯	4%

蔵屋敷自治会会長	石川 隆22-3127
蔵屋敷自治会防災部長	田中祐司22-3072
108 世帯	3%

御成町末広自治会会長	米里文明23-5969
御成町末広自治会防災部長	伊藤英二23-2133
御成町末広自治会総務部長	岩沢 晃22-8386
210 世帯	7%

扇ガ谷下町自治会会長	平井 修22-9323
扇ガ谷下町自治会副部長	上川 章23-1638
扇ガ谷下町自治会顧問	竹内重利25-5546
216 世帯	7%

巨福呂坂町内会会長	村越 俊一22-4173
巨福呂坂町内会防災委員	宮脇 信彦090-1030-481
110 世帯	3%

雷ノ下二丁目黨会会長	白井達雄25-3629
雷ノ下二丁目黨会防災部長	平木裕子24-3695
20 世帯	1%

小町二丁目自治会会長	高橋令和22-3739
小町二丁目自治会防災部長	龜崎善紀08050790588
116 世帯	4%

鎌倉小町商店会会長	今 雅史08065361096
194 世帯	6%

マスターズハウス自治会会長	林さち子67-8085
60 世帯	2%

山王台自治会会長	岩田 薫24-4414
山王台自治会防災部長	森田英夫24-1092
55 世帯	2%

泉が谷町内会会長	河内正治24-8987
泉が谷町内会防災部長	山田 敏22-5562
	大三輪龍哉22-1359
108 世帯	3%

小町元町町内会会長	高橋和雄22-2291
40 世帯	1%

小町二丁目東自治会会長	片瀬裕文22-4065
80 世帯	3%

鎌倉表参道商店会	荒井園明25-4551
89 世帯	3%

# 令和6年度 自主防衛成小学校ブロック 第1回幹事会議事録

開催日：令和6年4月18日(木) 14:00~16:00 於 佐助自治会館

当日出席の自治会・町内会・商店会役員（敬称略）10団体15名

雷ノ下岩谷堂（宮田/児玉） 扇ガ谷上町（河内） 御成町末広（米里）  
巨福呂坂（村越） 山王台（岩田） 塔ノ辻（加藤） 佐助自治会（八星/森永/森本）  
八幡宮前商店会（小島） 鎌倉小町商店会（今/小宮） 八幡宮前（元松/鬼頭）

## 当日配布資料

- ①令和5年度会計報告
- ②令和5年度第4回ブロック会議議事録（令和6年2月22日開催）
- ③令和6年度役員名簿（確認用）
- ④令和6年度連絡網（確認用）
- ⑤防災訓練実施経過

## 本日の議事

- 1 ブロック長 挨拶
- 2 出席者 自己紹介
- 3 今年度 自主防災組織連合会事業の目安 説明
  - ①役員会：4月25日(木)
  - ② 総会：5月末
  - ③総合防災訓練：8月29日(木)
  - ④ 沿岸部一斉津波避難訓練：11月16日(土)
  - ⑤視察研修会：年度内
  - ⑥ 自主防災組織リーダー等研修会：10月~翌2月
  - ⑦消防出初式：1月6日(月)
- 4 令和5年度 会計報告（別紙①）
  - ① 出納記録・年会費共に特段の質疑は無く了承された
- 5 令和5年度 第4回ブロック会議報告（別紙②）
  - ① ブロック会議後に新年度ブロック長担当の②グループ内で討議の結果、最終的に雷ノ下岩谷堂町内会の宮田氏にブロック長をお願いし承諾を得た。
  - ② また、グループ分けについても話題になったが区分けについては今後の検討課題とした。
  - ③ 自治会と商店会が共同で自主防災組織を運営することは意義があることで、自然ながれてあるとの認識を両会とも共有した。
- 6 令和6年度 防災組織役員名簿及び連絡網並びに開催場所の確認（別紙③、④）
  - ① 次回ブロック会議で内容確認を行い、修正して確定とする。
  - ② 今年度の会議開催場所は佐助自治会館とする。

## 7 令和6年度 活動方針

### 1) 鎌倉市自主防災組織連合会の事業計画

#### ① 前出の自主防災組織連合会事業の目安と同じ

### 2) 御成小ブロックの防災訓練について

#### ① 宮田ブロック長より以下の問題提起があった。

- ・命を守るための観点（生き延びるため）からの訓練が必要ではないか
- ・逃げるべき場所（避難場所）と避難経路の確認周知、独居高齢者への対応はどうか
- ・安否確認方法の共有、要支援者等の情報共有と対応はどうか

#### ② 意見交換

- ・要支援者等の情報共有は個人情報保護との絡みがあるので慎重にすべきではないか
- ・要支援者等の情報は民生委員も把握しているのですり合わせが必要
- ・地域ならではの情報共有は、日常の近所づきあいが大切ではないか
- ・重大事象発生時には、自身の安全確保が第一義的なものであって、救出や支援を強制するものではないとされている
- ・商店会では地震発生時等の観光客、特にインバウンドへの避難誘導等が可能か不安で、出来れば従業員等核となる人だけでも訓練が必要ではないか
- ・災害発生時には市の防災担当者から当該地区の自治会長へ状況確認の問合せ連絡がある
- ・避難経路等は地域により状況が異なるため、夫々が明確にして平時の訓練が必要では
- ・自治会毎にルールを作りながら、ブロックとしても共通認識でルール作りが必要では
- ・自治会単独で避難訓練をしているところもある
- ・安否確認のために赤旗・黄色旗やタオル・シール等を配布している地域もある
- ・安否確認のための要支援者マップを作成して、担当者を決めている自治会もある
- ・地域により危険度や特性の違いがあり夫々に考えていく必要もある

⇒多くの意見が出されたが、それらを踏まえて次回ブロック会議では重大事象発生時の被害想定や避難場所、避難経路の確認、安否確認方法、民生委員との関係性等市役所防災課の職員の参加を求め、考えていくこととした。

## 8 令和6年度 第1回 ブロック会議日程

6月20日（木）14：00～16：00 於 佐助自治会館

令和5年度 出納記録

期間 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 記入日 令和6年3月31日

収入

内	訳	金 額	備 考
4月1日	前期からの繰越金	176,285	
11月24日	防災訓練補助	30,000	
2月22日	令和5年度年会費	35,000	
合	計	241,285	

支出

内	訳	金 額	備 考
5月21日	自治会館使用料 (5/19・7/6)	2,000	
8月24日	自治会館使用料 (8/24)	1,000	
8月24日	会議時飲み物代	2,918	
9月21日	自治会館使用料 (9/21)	1,000	
10月19日	自治会館使用料 (10/19)	1,000	
11月2日	自治会館使用料 (11/2)	1,000	
11月9日	自治会館使用料 (11/9)	1,000	
11月13日	防災訓練費用合計 (10/19~11/13)	26,216	
11月20日	会議用紙代・インク代	2,065	
12月14日	自治会館使用料 (12/14)	1,000	
2月22日	自治会館使用料 (2/22)	1,000	
2月22日	訓練記録アルバム作成費	5,000	
合	計	45,199	

来年度へ繰越 ( 収入 - 支出 ) 196,086

防災訓練関係

収入

内	訳	金 額	備 考
11月24日	防災訓練費用補助	30,000	
合	計	30,000	

支出

内	訳	金 額	備 考
10月5日	ポスターコピー代	680	
10月19日	ポスターコピー代	1,000	
10月25日	ポスターコピー代	600	
10月25日	班分け用リボン代	1,890	
11月7日	誘導用センスクリアファイル色画用紙代	550	
11月10日	訓練時飲み物代	19,280	
11月13日	訓練時養生テープ等	2,216	
2月22日	訓練記録アルバム作成費	5,000	
合計		31,216	

( 収入 - 支出 ) -1,216

## 令和5年度 年会費

領 収 日

令和6年2月22日

	自治会・町内会名	会 員 数	会 費
1	小町二丁目東自治会	80	¥1,000
2	雪ノ下岩谷堂町内会	210	¥2,000
3	巨福呂坂町内会	110	¥2,000
4	雪ノ下二丁目篤会	20	¥1,000
5	八幡宮前自治会	156	¥2,000
6	小町二丁目自治会	116	¥2,000
7	小町元町町内会	40	¥1,000
8	八幡宮前商店会	140	¥2,000
9	鎌倉小町商店会	194	¥2,000
10	鎌倉表参道商店会	89	¥1,000
11	扇ガ谷上町自治会	365	¥3,000
12	扇ガ谷下町自治会	216	¥2,000
13	扇ガ谷泉ガ谷町内会	108	¥2,000
14	山王台自治会	55	¥1,000
15	御成町末広自治会	210	¥2,000
16	蔵屋敷自治会	108	¥2,000
17	塔ノ辻自治会	337	¥3,000
18	鎌倉御成町マstarsハウス自治会	60	¥1,000
19	佐 助 自 治 会	610	¥3,000
			¥35,000

令和6年5月10日

鎌倉市役所総合防災課御中

御成小学校ブロック長 宮田 廣

前略 平素より当ブロック防災活動に多々ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ブロックでは今年度の防災訓練を、津波から命を守るための行動に重点を置き、所属自治会、商店会がそれぞれの地域的特性を踏まえて実施する方向で検討を進めております。下記の通りグループ全体会議を開催いたしますので、貴課より何卒ご出席賜り、防災訓練内容を検討するに当たっての前提、または留意すべき点、承知おくべき点としてご教示くださいますようお願いいたします。

草々

記

日時 令和6年6月20日(木) 午後2時から4時

場所 佐助自治会館

当日鎌倉市よりご教示ご指導をいただきたき内容

1. 2023年3月作成の防災情報ハンドブックに記載の内容を前提としてよいか。  
(津波到達までの最短時間8分、想定最大津波高13m)
2. 大津波警報が発令された場合、津波浸水が予想される地域にいる人は、直ちに避難経路に従って浸水地域外に退避することを原則とすればよいか。
3. 予想される津波浸水深が3.0m以下の地域にいる人は建物の2階以上に避難してもよいか。
4. 市役所は想定最大津波発生時にも防災拠点、避難場所になり得るか。
5. 避難経路を示す矢印(ピクトグラム)や、想定最大浸水深を示す目印を市街に表示するにはどのような許可が必要か。
6. 自治会が要支援者リストを活用することに対する制限は何か。
7. 津波被害がない、または軽微だが、家屋倒壊、火災等が発生した場合、行政は住民、観光客にどのような方法で情報提供、指示を行うのか。(自治会、商店会はどのように関与するのか)

以上